

奄美大島・喜界島農業の動き

■令和7年8月

1 女性農業者が今後の組織活動などについて語り合う

7月29日、奄美市AiAi広場で管内の女性農業経営士組織である「奄美うなりまーじん会」が研修会を開催し、会の中で、7月に開催された徳之島での「農村女性リーダーネットワーク先進地研修」の報告がなされました。この報告で研修成果の共有が図られ、出席者は多くの刺激を受けていました。「また、参加したい」といった声が聞かれるなど、女性農業者の多くが交流や学習の場を求めている事が再確認されました。今後も、女性農業者が各種研修会へ参加しやすい環境作り等を関係機関団体と進めていきます。

2 さとうきびハーベスタオペレータの確保に向け、刈取体験会を開催

8月5日、奄美市さとうきび振興対策協議会主催の「さとうきびハーベスタ刈取体験会」が、奄美市笠利町において開催されました。この体験会は、不足するハーベスタオペレータの確保に向けた取組の一環です。講師の刈取作業を見学後、収穫袋約1網分の刈取を行った14人の体験者からは「刈取は難しかったが、また体験会があれば参加したい。」との前向きな声が多く寄せられました。農政普及課では今後ともこのような取組を推進し、オペレータ確保を支援していきます。

3 10回目のマンゴー品評会は過去最高の糖度！

8月6日、農業開発総合センター大島支場において、園芸振興協議会大島支部主催の「第10回奄美大島・喜界島マンゴー品評会」が開催されました。春先の低温で減収となるなか開催が危ぶまれていましたが、平均糖度16.1度と過去最高となる高品質な11点が出品されました。外観（果皮の着色、障害の有無、玉ぞろい）と品質（糖度）の総点で入賞者を選出しました。出品されたマンゴーは、地元新聞社やラジオ局を通じたプレゼントキャンペーンで当選された9名に贈り、PR・消費拡大を図りました。



品評会で入賞した果実